

19	修了生支援	アルムナイ活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・アルムナイによる在学生との交流会の設置 ・地方別、国別の同窓会活動の開催の推進 ・教員の地域別・国別によるアルムナイ活動への出張講義 ・修了生に対するソフト・ハード両面での就業支援 ・大学院から卒業生、学生、父母等への定期的情報発信 ・入学式終了直後の速報の発行 ・卒業生・卒業生団体との連携強化 ・卒業生等との連携担当部署の設置 ・大学・AOBA・大学院からの情報発信 ・卒業生データの整備 ・ホームページ及びSNSを活用した双方向システムの実現 ・卒業生団体からの寄付講座による実践的講義の開催
20		認証評価		<ul style="list-style-type: none"> ・大学基準協会へ本評価、改善報告書を作成。 ・中長期計画の枠内において、認証評価結果等の状況に応じて、適宜改善活動を実施する。 ・第4期認証評価にかかわる法令や基準との適合を検証し、教学マネジメントサイクルの方針、組織体制、規定改正をおこなう。 ・第4期認証評価の争点になる可能性のある実務家教員への研究活動や教育に関するFD活動を企画・実現する ・第3期認証評価の争点となったIR活動を軸にした教学マネジメント体制を堅持し、改善活動を実施する。 ・学生アンケートによる学生の成長や満足度、満足度に連動する学生個々人の満足要因・不満要因を可視化し、学生の成長に資する教育改善活動を進める。 ・全学的観点による評価方法、コースレベルの教育課程の評価方法を開発し、自己評価を担保する外部評価の方法を見直し、学生の成長を支援する評価を実施する。
21	基本項目	大学マネジメントのための基本項目		<ul style="list-style-type: none"> ・大学院担当副学長の配置 ・研究科の理念・目的の検証 ・研究科・専攻の基本方針（3つのポリシー）の策定 ・長期履修学生制度の導入 ・社会人の受入れの強化 ・大学院学生対象アンケートの実施 ・収容定員の適正化（定員の検討） ・事務局組織再編を実施し、事務局の組織力強化とともに、認証評価のPDCAサイクルと将来構想を実現する組織として総合的に機能することを目指す。 ・意思決定プロセスの透明化・簡略化 ・経理規程、調達規程、固定資産・物品管理規程の制定等、財務関係諸規程の抜本的再整備 ・リスクマネジメント体制の確立 ・ハラスメント防止体制の整備 ・自己点検・評価の実施 ・認証評価を踏まえた活動 ・教員採用基準に基づく教員採用 ・毎年度採用ポリシーを作成し、それにもとづき選考プロセスを検証し、改善を図る。 ・FDの実施 ・SDの実施 ・AO入試導入
22	教職協働	教職協働を実現するための職員の活動		<ul style="list-style-type: none"> ・職務内容の明示と求めるレベルの具体的な提示 ・職員の総合的人事制度の再構築 ・目標管理制度の実施 ・事務局組織再編の実施 ・人事育成方針に基づく各種研修制度の充実 ・各科目・カリキュラム全体の職員の理解 ・研究倫理及び著作権規定などの職員の理解 ・研究活動全般の理解と研究推進を支える体制の整備 ・大学マネジメントを円滑にする教員職員それぞれの中間管理職の創設
23	広報	戦略的広報活動の実現		<ul style="list-style-type: none"> ・千代田区等地域との連携による生涯学習講座の実施 ・交流事業の実施 ・大学セミナー、大学フェアの実施 ・メディア各社との懇親会の拡大 ・メディアとの連携企画の実施 ・ブランド力の定義づけ及びブランド構築に向けた中期計画の策定 ・大学院の戦略的広報活動の組織的連携体制整備 ・MBA教育そのものの認知度向上のための戦略的広報活動の体制構築 ・オンライン教育による学習効果の戦略的広報活動 ・国内主要都市・海外の都市の地下鉄・バス・電車等での広報活動や各種媒体を駆使した活動 ・学部教員の全国高校行脚の際の高校職員への大学院の理解度促進のための活動 ・統一感をもつ広報物の作成・発信 ・ホームページの機能強化 ・受験生を含むステークホルダーに対する接触型広報の充実 ・オープンキャンパスの内容の充実